

# しせいがい

Shiseikai

新春号

vol.80  
2017.1

平成28年度  
志誠会成人式

## Contents

- 新しい年によせて
- 部署紹介 ●クリスマス会
- しせいがいが作る「那覇空港限定ギフト“空人ベジラーメン”シリーズ」
- 作業療法便り vol.9
- ありんくりん

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiwahsp/>



# 二〇一七年新しい年によせて



医療法人社団志誠会 理事長 小渡 敬

平成二十九年の新春を迎えるにあたり 皆様に謹んでお慶びを申し上げます

地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年で平和病院は30回目の新年を迎えます。これもひとえに地域の皆様のご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

昨年は異常気象続きで地震や豪雨、土砂崩れ、竜巻など大きな災害がいくつも発生しました。なかでも熊本県の地震は大きな被害をもたらしました。一日も早い復興を願います。

一方、イギリスでは国民投票でEUからの離脱が決定し、アメリカでは異端児と言われたドナルド・トランプ氏が次期大統領に決まり、今年は世界的に政治的にも経済的にも不安の多い年となりました。特に我が国の外交や安全保障の問題については、本県は直に影響を受けると思われるので今後の動向が注視せざるを得ません。

医療の問題としては、「医療介護総合確保推進法」に基づいてこれまでになく大きな変革期を迎えようとしています。特に団塊

の世代が後期高齢者となる2025年度に向けて各県で地域医療構想を策定し、本年3月には計画が決定することになっております。これにより今後の病院の在り方や医療供給体制が確立することになります。一方、精神科医療においては昨年の相模原市の津久井やまゆり園でおきた措置入院歴のある者による殺傷事件が起こり、大変な衝撃を受けました。この事件を受け、今後、措置入院の退院後の在り方について検討がなされることになっております。

いい事としては、昨年も大隅良典先生のノーベル賞受賞があり、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは若者が活躍し多くのメダルを獲得しました。私たちに希望と力を与えてもらいました。

志誠会はこれからも医療や介護を通して地域に貢献できるように努力したいと考えております。本年も変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます。

新年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

## 薬 剤 課

当院の薬剤室は、外来診察室の横に位置しており、診察から薬の受け取りまでを患者様がスムーズに行えるよう配置されています。私たち薬剤課の主な業務は、医師の処方に基づいて薬を調合することですが、例えば他の病院の内科薬を服用している患者様が来られた場合やアレルギーを持つ方が来られた場合などには、薬の組み合わせに問題はないかを医師に確認しながら安全に薬をお渡しできるよう調合を行っています。その他にも医薬品の在庫確認を定期的に行い、品質・安全管理に気を付けています。薬剤課には薬剤師の他に薬剤助手がおり、多岐にわたる業務を協力しながら行うことで、正確な調剤と患者様へ早く薬をお渡しできるよう努めています。

薬をお渡しする際には、分かりやすい服薬指導を心がけています。薬に関することで疑問に思うことや困っていることがあれば、お気軽にお声かけ下さい。

### 病院薬剤師が行う業務

- ① 正確な調剤および安定的な医薬品の供給
- ② 適切な医薬品情報の提供と薬品に関する知識の教育
- ③ 医薬品が適正に使用されるための指導
- ④ 有害事象や起こりうる副作用を未然に防ぐ
- ⑤ 医師や看護師など医療スタッフとの連携による質の高い薬物療法の提供
- ⑥ 薬剤師の処方設計への関与による、薬剤費の削減や医療費の軽減への貢献

## 検 査 課

【臨床検査部門】医師の指示のもと検体検査と生理検査を実施しています

### ○臨床検査って何？

病院で、採血や検尿をしたことはありますか？それが臨床検査です。臨床検査は患者から採取した血液や尿、便などを調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者を直接調べる「生理機能検査」の2つに大きく分けられます。

### ○当院での検査

尿 検 査：尿中の蛋白、糖を調べたり、尿中の細胞を顕微鏡で観察します。

心電図検査：心電図とは心筋が収縮するときに発生する微少な電気を、心電計で記録したもの。不整脈や心筋梗塞など心臓に異常がないかを調べます。

脳 波 検 査：脳から発生する微弱な電気を脳波計で記録。てんかんなどの診断に有用です。

### クロザピン治療開始

2016年11月より外来でのクロザピン治療が開始されました。

検査結果を迅速に報告できるよう、全自動血球計数器と臨床化学分析装置を導入しました。



【放射線部門】医師の指示のもと単純X線やCTの画像撮影を行っています。

- 2016年2月に16列CTを一新、迅速な撮影ができるようになり、患者様の負担を軽減することができました。



検査課では、安心、安全で、正確な検査業務を行うことと、患者様には、親切、丁寧な対応で接すること を心がけています。



## “特別な時間”を感じてもらうために ～クリスマスイベントの開催～

去った12月17日に、毎年恒例のクリスマスイベントが開催されました。

毎年行われているこのイベント。ビンゴ大会やのど自慢大会などの他にも、ネイルサロン、ハンドマッサージコーナー、ミニ喫茶店といったブースが開かれました。



メイン会場では、まず、ニュース映像で一年を振り返ってもらいます。その後、ビンゴ大会やのど自慢大会が開かれました。会場はこの熱気！



←ネイルサロン  
&  
ハンドマッサージ→

職員もドレスアップして  
店員に早変わり。  
皆にサービス！



本格的なドリップコーヒーと軽食  
が楽しめる喫茶店も好評でした！



院長も来店。ご満悦!?でした。



### なぜ、このようなイベントを開いているのでしょうか？

この時期の街並みはクリスマス一色。道行く人々も綺麗に着飾っていて、特別な雰囲気がします。でも、病院内にいる患者さん達はそんな雰囲気をなかなか味わうことが出来ません。

いずれ社会に戻っていただく患者さんには、“最近、世の中で何が起きているのか？ 今、世間はどんな時期なのか？”といった感覚を忘れずに感じてもらう事がとても重要。そのために毎年この時期にイベントが企画されて、患者さんに“特別な時間”を提供しています。今年のイベントも無事終了、皆に特別な時間を感じてもらえたなら嬉しいです。

(作業療法士：比嘉 創)

## しせいかいが作る

### 「那覇空港限定ギフト“空人ベジラーメン”シリーズ」

医療法人社団志誠会が運営する「就労訓練工場しせいかい」より、那覇空港限定のお土産ギフトが2016年10月から発売スタートしました。

本製品“空人（注：そらんちゅ）ベジラーメン”は、「しせいかい」が工場を構えるうるま市の特産品“津堅にんじん”や“照間ビーグ”のパウダーを使って、沖縄のソウルフードである沖縄そばとコラボした色とりどりのオリジナル麺で、那覇空港を訪れた方が本当の地元の良さに出会える、特別な旅ギフトです。

「しせいかい」はこれまで障害者による物づくり工場として、精神障害者の方々が中心となって、安全・安心で質の高い工場運営を目指してきました。障害のために働くことが困難だった時期を乗り越え、それぞれの個性にあふれ、ハンディキャップをお互いに補い合い、厳しいハビリに立ち向かうことで、自立できることが分かってきました。

一方でうるま市は、中小企業が多く、大企業のように原料づくりから販路拡大まで自社で一括して取り組める企業が少ないため、立派な農産物を作っても、売り場が少ない、魅力的なパッケージの商品が少ないといった状況が生じやすく、一次産業から三次産業まで、様々な作り手が協力し合うことが必要でした。

そういったうるま市の現状を知り、「しせいかい」も地域の特産品活用に取り出し、麺づくりのノウハウを生かして商品開発を実践。うるま市にも協力してもらいながら、今回のギフトが完成しました。

こだわりの逸品を、多くのお客様の手にとってもらえる機会が得られたことを、利用者の皆さんが励みに感じ、毎日売上を気にしています。今後は販売促進も頑張りながら、地域活性化が少しでも担えるよう、沖縄の良さを伝える物づくりを行っていきたいと思っています。

↓那覇空港でベジラーメンが売られている様子





## 『作業が気づかせてくれたこと』

私の担当するリハビリプログラムの一つに、『趣味文化活動』という作品作りを行うグループがあります。昨年11月、沖縄県立美術館で開催された“心の芸術・文化フェスティバル”に、この趣味文化活動に所属するAさんの作品が出展されました。今回はそのAさんが作品を仕上げるまでの様子を伝えたいと思います。



作業療法課：島袋文子

応募の通知が届いたのは、10月頃。一から準備に取り掛かりました。何を出展するのか？

デザインは？どのメンバーで作っていく？全くの無の状態からのスタートです。

そんな中、Aさんの絵が候補に挙がりました。Aさんは、毎日趣味文化活動で絵を描き続けています。独創的で不思議な絵を思いつくまま白紙に表現します。そして、作品が完成するたびに他の人達へ感想を尋ねます。いつもかけられる言葉は「上手。素敵だね」。褒めてもらうたびに満面の笑みを浮かべて満足気な顔をしていました。ところが最近それだけでは物足りないような様子。イライラを訴えることが増えて作業に集中できません。そこで、作品を作る意欲を取り戻すきっかけとしてもう一度Aさんが注目を浴びるチャンスを作るために、Aさんの下絵を元にちぎり絵を作成することに決めました。題名は『艶やかな船』。広大な海に1艘の船がポツンと浮かんでいて、そこから空へ向かって無数のカモメが飛び立つ構成です。この絵の思いを尋ねると「イライラ、寂しさ、孤独を表している」と。その当時のAさんの心情そのもののようでした。

まず下絵をもとに画用紙で色を貼り付けていきます。原画のイメージを崩さないように慎重に数名のメンバーで一つの作品を作り上げていきます。他の人と一緒に作業する事が苦手なAさんは、始めは作品作りを取り仕切る監督として見学していました。自分からは話しかけないので、職員が色々相談を持ちかけながら他のメンバーに指示してもらうという形で参加していました。1週間ほど経った頃でしょうか、Aさんは自分の作品が形になっていく様子をそばで見ているうちに意欲が湧いてきたのか、苦手な貼り絵にも取り組み始めました。そして締め切りまで残り1週間、ラストスパートに入ると休憩もそこそこにすぐに作業を続けました。作品が形になっていく事を楽しみにしているような表情で。一緒に作業をしているメンバーに対しても「あんたは天才だ。すばらしい！」と、少し大げさな褒め言葉ですが、相手を笑顔にしてくれます（本人なりに感謝の気持ちを伝えているのでしょう）。毎日作業の時間が終わるたびに「最高！！ありがとう」とメンバーや職員へ握手を交わして帰って行きました。作品作りを通して変わっていったAさん。作品も無事期限に間に合い完成を迎えることができました。



人は作業を行うことで、自分自身がどんな人間か自覚できるとされています。そんな中で私たち作業療法士が出来ることは、患者さんに合った「作業」と「環境」を提供する事です。作業をすることで元気になれる。楽しみを見つけられる。自分らしさを見つけられる。1か月という短い期間の取り組みでしたが、改めて作業の持つ効果を感じることの出来た時間でした。

# この冬の **ありんくりん**

## 陽光館 新年会

去った1月14日(土)、陽光館にて新年会を開催しました。今年は「うるま民謡愛好会」の方々に余興を行っていただき、歌あり踊りありで会場を盛り上げて頂きました。会場からはたくさんの笑顔が見られ、楽しいひとときとなりました。



## 平成28年度表彰

昨年11月2日(水)、沖縄県精神保健福祉普及大会で行われた沖縄県精神保健福祉事業表彰で、当法人からは「優良精神保健福祉事業関係者」に上江洲多恵子さん、「永年勤続表彰者」に又吉克美さんと森山誠さん、安慶名一也さんが受賞しました。また11月16日(水)に行われた沖縄県医師会主催の永年勤続医療従事者表彰式では、榎木宏之さん、玉城千明さん、友利美由紀さんが受賞しました。表彰された皆さんのさらなる活躍を期待しています。



## CVPPP 勉強会開催

～安心で安全な環境作り～

1月17日(火)、「CVPPP(包括的暴力防止プログラム) 基本的な考え方」として院内勉強会を行いました。講義では、「暴力の現場を押さえることも大切だが、患者さんの普段とは違う様子を感じ取り、何気ない言葉や態度から、暴力が起きる前に収めることが重要である」と学びました。当日は看護師以外にも作業療法士や施設職員、事務職員が参加しそれぞれの状況を振り返りながら改めて患者様への対応を見直す時間となりました。

当院はCVPPP指導者として研修を受講し認定された看護師が5名おり、職員を対象に定期的に勉強会を設けています。より安心で安全な環境となるよう今後も努力していきたいと思っています。



## 具志川商業高校6名が インターシップにきました

2016年7月5日、6日の2日間、具志川商業高校の生徒6名が就労訓練工場「しせいかい」にて就労体験を実施しました。生徒の皆さんは初めてのことに戸惑いながらも、わからないことは利用者に尋ねながら一生懸命取り組んでいました。終了後は「これが仕事なのか」「こんなに汗をかいたのは初めて」「毎日働いている人はすごい」などの声があがっていました。

「しせいかい」は、過去2回具商デパートへ「めんくい」の沖縄そば、「スターベーカリー」のパン販売で出店しており、具商デパートでの繋がりが「しせいかい」へのインターシップが実現しました。交流の輪が広がることで、学生の皆さんにも平和病院の取り組みや、利用者の素顔を伝えることができると感じました。今後もインターシップを通して、障害理解や地域交流を図っていききたいと思います。







精神科・心療内科・内科

## 平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 急性期治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイ・ケア

受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00

日・祝祭日は休診（木曜は新患受付行っておりません。）

電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地



介護老人保健施設

## 陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ デイケアセンター陽光館 ☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館  
☐ 居宅介護支援事業所陽光館 ☐ 短期入所療養施設陽光館  
☐ 認知症グループホームあおば邸 ☐ 高齢者相談センター具志川ひがし

受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館

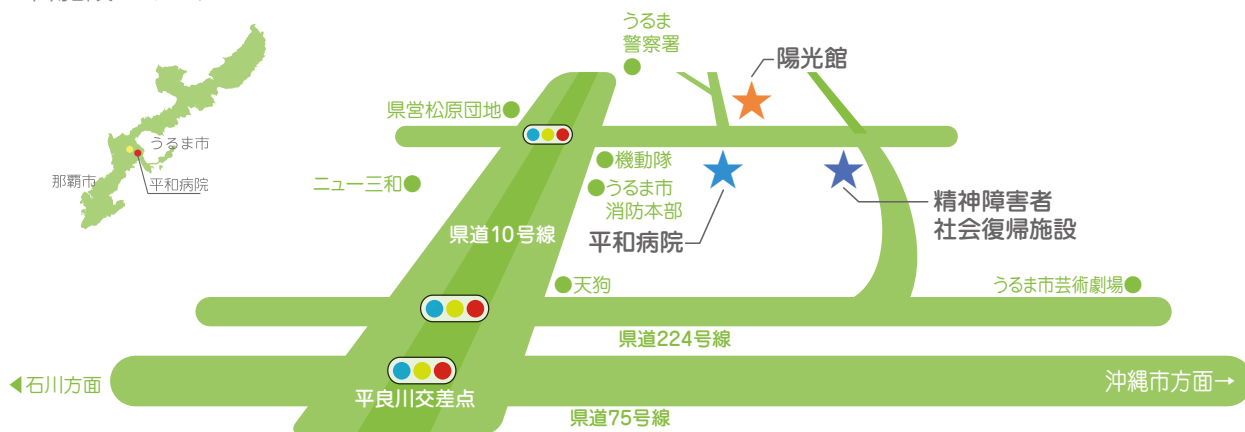
電話：098-974-4000 住所：うるま市字上江洲661番地



## 精神障害者社会復帰施設

☐ グループホームしせいかい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所）  
☐ 自立訓練事業所しせいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所）  
☐ 就労訓練工場しせいかい（就労移行支援・就労継続支援B型）

### 各施設へのアクセス



## 編集後記

明けてましておめでとうございます。早いもので、あっという間に1年が過ぎ去っていく感じがしているのは僕だけでしょうか？さて今号の表紙は1年前の新春号同様、この1年間の写真を使用してコラージュを作成してみました。調べてみると、このような写真をコラージュするソフトも販売されているようですが、僕は手作業で一枚一枚の大きさを整え、貼り付けしているため、それぞれの写真を眺めながら、こんなこともあったんだなと1年を振り返るいい機会になってきております。というわけで、来年の充実した表紙制作にむけて、今年も各部署頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

高屋 幸佑